

あべ弘士(1948年～)は、『あらしのよるに』(1994年/文:木村裕一)の挿絵を手掛けた画家です。嵐の吹き荒れる夜、逃げ込んだ小屋の暗闇の中で互いの正体に気づかずに会話を交わすヤギとオオカミの楽しそうな姿に、誰もが、天敵という宿命を超えた奇跡を願わずにはいられません。

これを描いた時、あべは、動物園の飼育係でもありました。彼が1972年から25年近く飼育係として勤務していた旭川市旭山動物園は、現在、動物たちのありのままの生態をみせる行動展示によって、多くの人々に驚きと感動を与えています。この展示には、あべが同僚たちと長年にわたり懸命に練り続けたアイデアも活かされています。

あべは、この在職中に発表した『雪の上のどうぶつえん—なぞの あしあとの まき—』(1989年/1997年改題『雪の上のなぞのあしあと』)によって絵本の世界にデビューしました。そして、動物たちを主人公にした独特の

旭山動物園の飼育係から絵本作家へデビュー30年

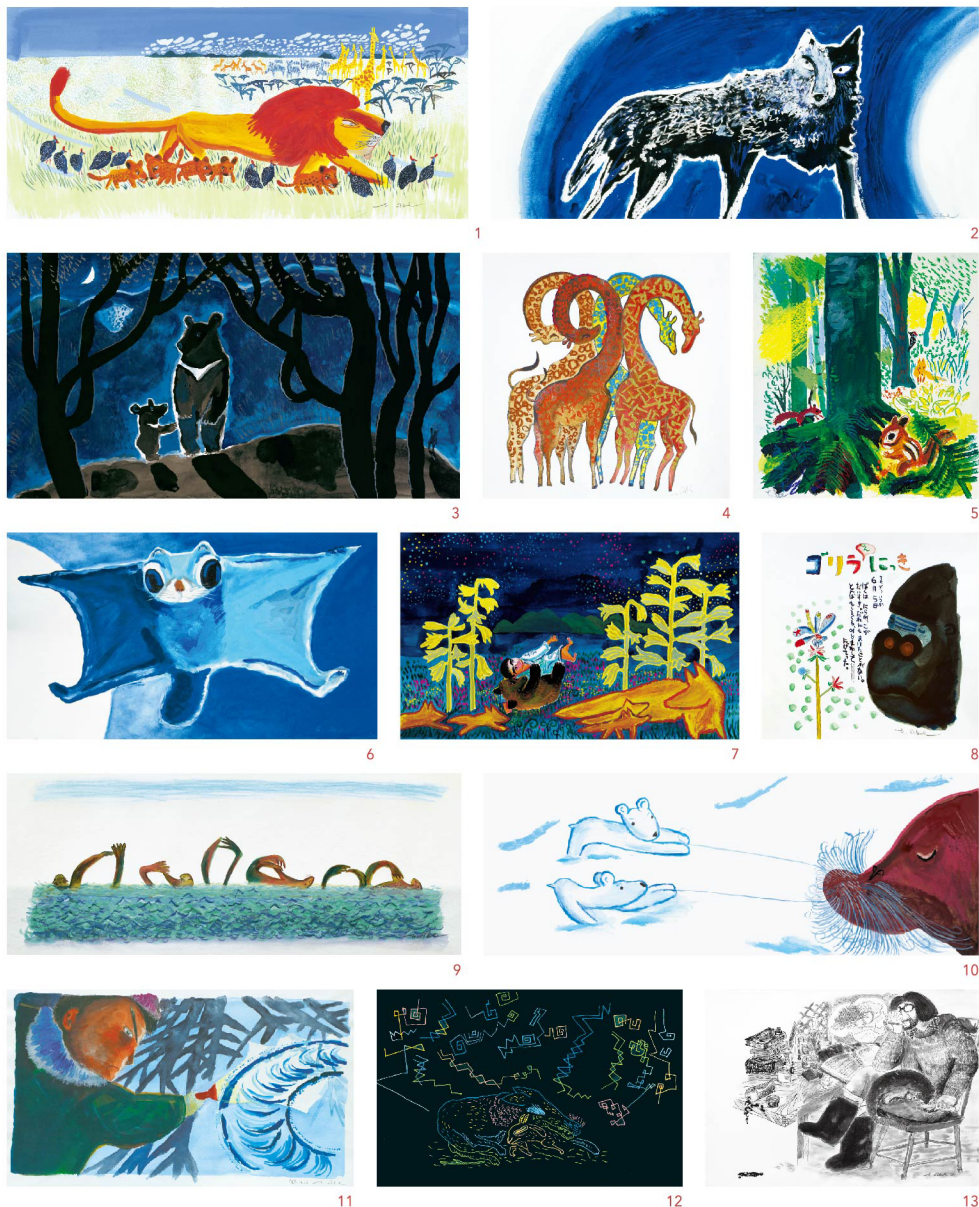
# あべ弘士の絵本と美術

— 動物たちの魂の鼓動 —

世界を築き上げ30年、現在、日本を代表する絵本作家の一人となっています。

少年時代に自然の中を駆けまわった感覚を決して忘れることのないあべは、自分に自然の中に身を置く喜びを教えてくれた地元、北海道に深い愛着を持ち続けています。この感覚と愛着を礎に、飼育係時代に培った知識と世界中のありのままの動物たちの姿を目の当たりにする経験によって、動物たちの生き生きとした姿を、色鮮やかな画面の中でユーモアたっぷりに自在に操り続けています。それは、多くの人々に限りある命の尊さとこの世に生を受けた幸せを実感させてくれるものでもあるでしょう。

この展覧会では、あべがこれまで手掛けてきた約200冊の出版物の中から、作家自身の提案にも基づきながら厳選した、そのデビュー作から、『クマと少年』(2018年)までの絵本、児童書の44タイトルの原画約240点と本展のために制作された屏風、立体などの美術作品によって、その足跡を紹介いたします。



1 『ライオンのよいいち』(2001年/佼成出版社) 2 『エゾオオカミ物語』(2008年/講談社)\*会期中、展示替があります。 3 『なめとこ山の熊』(作:滝沢賢治・2007年/三起商行) 4 『どうぶつえんガイド』(かがくのとも265号 1991年/福音館書店) 5 『森からのてがみ ③』(文:N.スラコフ 訳:松さやか・2002年/福音館書店) 6 『そらいろのけもの』(かがくのとも429号 原作:V.ビアンキ 再話:澤口たまみ・2004年/福音館書店) 7 『クマと少年』(2018年/ブロンズ新社) 8 『ゴリラにつき』(1998年/小学館) 9 『おっとせいおんど』(こどものとも401号 文:神沢利子・1989年/福音館書店) 10 『ふたごのしろくまくるくるぱっちゃんのまき』(2012年/講談社) 11 『雪の上のどうぶつえん—なぞの あしあとの まき—』(かがくのとも240号 1989年/福音館書店 \*1997年改題『雪の上のなぞのあしあと』) 12 『あらしのよるに』(文:木村裕一・1994年/講談社) 13 『旭山動物園日誌』(1981年/出版工房ミル) \*1・3~13 作家蔵 2 北海道立旭川美術館蔵

## 関連催事

あべ弘士さんと美術館で会いましょう。

### 第一弾! プレオープンに無料招待

日時:4月5日(金) 15:00~17:00(入館は16:30まで)  
 特典:あべ弘士ショートギャラリートークへの参加(15:30~)  
 定員:大人30名(高校生以下の方は何人同伴でも可。応募者多数の場合は抽選)  
 \*当選ハガキによるご入場は当日のみに限ります。

### 第二弾!! あべ弘士トーク&サイン会

日時:4月6日(土) 開場12時・開演13時  
 場所:ふくやま美術館1階ホール  
 定員:80名(応募者多数の場合は抽選)  
 サインはふくやま美術館ミュージアムショップにて、お買い上げいただいた書籍が対象です。サインはお一人様1冊までとさせていただきます。

応募方法:往復ハガキ(1枚につき2名まで)の宛先に、あべプレオープン係、あべトーク係のどちらかを必ず明記し①「郵便番号」②「住所」③「電話番号(昼間連絡がとれるもの)」④「お名前・参加人数」、返信面にご返信先を記入のうえご応募ください。

申込先:〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号 ふくやま美術館  
 締め切り:3月22日(金)必着

### ギャラリートーク \*特別観覧券が必要

(担当:当館学芸員/会場:1階企画展示室)  
**その1 ワンポイントガイドデー**  
 日時:4月27日(土)、5月11日(土)、5月19日(日)、6月2日(日) 各回14:00~  
**その2 聞いてみナイトデー**  
 日時:5月31日(金)、6月7日(金) 各回17:30~

### 読み聞かせしてみ隊ジュニア大募集

学校の読み聞かせの時間が大好きなあなた—自分でも読み聞かせしてみたいなと思ったことはありませんか? あべ弘士さん作のあなたのお気に入りの絵本1冊をギャラリートークの参加者におむけて読んでくれる方を募集いたします。

対象:小中学生(12名)(応募者多数の場合は抽選)  
 条件:①読み聞かせをする絵本を自分で準備できる人 ②4月13日(土)、4月14日(日)14時からのどちらかの説明会(約20分)に保護者と共に参加できる人 ③会期中のワンポイントガイドデーのいずれの日かに参加して読み聞かせができる人 \*②③とも付き添いとして保護者1名様にご入場(無料)いただけます

応募方法:往復ハガキ(1枚につき子ども2名まで)の宛先に、読み聞かせ係と必ず明記し①「郵便番号」②「住所」③「電話番号(昼間連絡がとれるもの)」④「保護者とお子様のお名前・参加人数」⑤「説明会参加日」⑥「ワンポイントガイドデー参加希望日」(第2希望日まで可)、返信面にご返信先を記入のうえご応募ください。

申込先:〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号 ふくやま美術館  
 締め切り:3月22日(金)必着

有料の展覧会をご覧いただく、美術館前駐車場は1時間無料となります。駐車券を受付にご提示ください。ただし、収容台数に限りがあるため混み合う事も予想されます。



【交通案内】  
 JR福山駅北口から西へ400m 山陽自動車道 福山東インターから車で20分 駐車場68台(有料の展覧会を観覧の方、1時間無料)

【お問い合わせ】  
 ふくやま美術館 〒720-0067 広島県福山市西町二丁目4番3号  
 TEL 084-932-2345 FAX 084-932-2347  
<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/>  
 Twitter:@fukuyama\_bi



広島県福山市西町二丁目4番3号 電話 084-932-2345 JR福山駅北口から西へ400m